

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第18回 植物細胞周期合同セミナー
演題名	傷害誘導性ANAC 転写因子の機能解析 -柔細胞から形成層細胞への転換
発表者	○ <u>松岡啓太</u> 【植物生理学研究室】
内容	<p>我々はこれまでに、シロイヌナズナ花茎の部分的な切断や、シロイヌナズナ胚軸間における接ぎ木過程では、細胞分裂が誘導されることによって、切り離された組織が強固に再接着することを報告している。本研究では、癒合過程におけるANAC転写因子の機能を解明することを目的としておこなった。発表では、植物特有の転写因子であるNAC遺伝子の一種が維管束組織の再生にどのように関与しているかについて報告した。</p> <p>本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」、私学事業団特別補助「大学間連携による共同研究」による支援を受けて行ったものであり、筑波大学との共同研究として遂行している。なお、今年度の植物細胞周期合同セミナーは栃木県日光市鬼怒川温泉で開催され、本学植物生理学研究室が幹事を努めた。</p>
関連画像	